

学校教育目標



夢 に向かっていく生徒
命 を大切に作る生徒
絆 を互いに深め合う生徒

須和田が丘

令和6年度
学校だより No. 16
令和6年 12月 12日

市川市立第二中学校
校長 杉山 哲

ホームページ <https://ichikawa-school.ed.jp/dai2-chu/>

白百合学級「合同学習発表会」

11月30日(土)、市川市小中学校特別支援学級合同学習発表会(北部地区)が開催され、市川市文化会館を会場に市川市北部の学校(小学校14校、中学校7校)が集まって、それぞれ工夫を凝らした発表を行いました。

二中・白百合学級の出演は午前の五番目。小学生のかわいい創作劇や桃太郎の英語劇、小中合同の市川市90周年を題材にした発表など素晴らしい発表が続いた後、幕前に二人の二中生が出てきて挨拶をし、いよいよ「劇 イヌと友だちのギター」のスタートです。

年輩のギタリストのヘクターはイヌのヒューゴと一緒に穏やかに暮らしていましたが、天才ピアニストのクマのブラウンが現れたことで波乱の展開に…。自暴自棄になったヘクターに代わってギターを弾き始めたヒューゴは、やがてブラウン楽団に引き抜かれ、二人は離ればなれになってしまいます。二人が感動の再開を果たす動物たちの演奏会の場面では、実際に二人がギターを演奏し、みんなも他の楽器、歌や踊りで参加して全員でDay Dream Believerを演奏して大団円。

絵本をもとにした劇なので、去年の竹取物語のように誰もが知っているストーリーではないのですが、見ている人が皆、一人一人の生徒の堂々とした立ち居振る舞いや、しっかりと声で危なげなく演技する姿に感心しながら、いつの間にか物語の世界に引き込まれ、劇そのものを楽しんでいた……そんな素晴らしい発表でした。



生徒が場面に合わせてアルコールインクアートで作った背景がまた素晴らしく、いろいろな色の舞台照明に美しく映えて物語の世界観を演出していました。ここまで完成度が高い「作品」に仕上げるまでには、これまでたくさんの準備や練習を積み重ねてきたものと思います。白百合学級の皆さん、本当によく頑張りました！お疲れ様でした。

白百合学級は、11月26日(火)の全校集会で、二中のみんなの前でもこの劇を発表し、全校生徒の喝さいを浴びていました。



3年生「校長面接」

入試面接の練習の意味も込めて、校長室を面接会場に仕立てて3年生の校長面接を行っています。ほとんどの生徒が姿勢正しく、適切な言葉遣いで自分の思い、考えをはっきり述べていることができ、感心しました。

将来の「夢」を持ち、それに向けて自分の進路をしっかりと考えている生徒も多く、改めて二中生の意識の高さを感じました。「尊敬する人は？」の質問には、家族や先生を挙げる人が例年より多い気がして、嬉しくなりました。「あなたの出身中学校はどんな学校？」と聞くと、「生徒が主体的に何事にも取り組む」「明るい雰囲気、挨拶ができる」「生徒同士仲が良く、先生と生徒の距離も近い」「先生方が自分たちの活動を信頼し、任せてくれる」など、二中に対する思いをしっかりと語ってくれました。

緊張しながらも精いっぱい受け答えする姿に、真面目な性格や前向きな考え方、優しい人柄などそれぞれ良さが出てきて、好感が持てます。終わってから「どうだった？」と聞くと「あまりうまく話せませんでした」と答える人も多いですが、それぞれの反省点を少し修正するだけで、本番には自信をもって臨んでいいと思います。がんばれ3年生！

学校生活の様子を、二中ブログ(HP)に掲載しています。ぜひチェックしてみてください！

